

# NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安美紀 【発行日】2018.5.10(通巻第15号)  
【HP】<http://www12.plala.or.jp/asian-kids-care/> 【E-mail】[kids@zpost.plala.or.jp](mailto:kids@zpost.plala.or.jp) 【団体設立】2004.2.11  
【TEL】090-5912-4515 【郵便振替】口座番号:01600-5-13009 口座名義:NPO法人アジアキッズケア  
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人アジアキッズケア

2004.7.24 にインドの孤児院に支援物資 6 箱を届けたのが始まりでした。その後、180 回を超える荷づくりボランティアを実施し、14 か国の子どもたちに発送し、累計 1000 箱を超えました。皆様のご支援を心から感謝します。マザー・テレサ「大切なのは、どれだけたくさんのかたを助けたかではなく、どれだけ心をこめたかです。」

2018.5.10

NPO法人アジアキッズケア 代表 喜安 美紀

## 15年目となる荷づくりボランティア活動 ※支援物資の送付 1004 箱 (2018.5 現在)

この 1 年間、アジアやアフリカの子どもたちに支援物資 (衣類、文具、楽器、日用品等) を次のように発送しました。

- |                       |                     |                     |
|-----------------------|---------------------|---------------------|
| ・2017.5 バングラデシュ、マリ(6) | ・2017.6 フィリピン(大箱3)  | ・2017.7 ウガンダ、ケニア(6) |
| ・2017.8 ガーナ(5)        | ・2017.9 マラウイ(5)     | ・2017.10 インド(4)     |
| ・2017.11 フィリピン(大箱2)   | ・2017.12 バングラデシュ(5) | ・2018.1 モンゴル、マリ(3)  |
| ・2018.2 インド(2)        | ・2018.3 ケニア、インド(8)  | ・2018.4 フィリピン(大箱4)  |

※支援物資の送付実績 1004 箱、送料経費総額 6,128,121 円 (2018.5 現在)、14 か国に届けています。

## <支援物資のご提供をお願いします> ※私たちのまごころを添え、「ハンド to ハンド」で届けます

子どもたちに送る支援物資として、夏物衣類(子ども～大人用:Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、鉛筆・ボールペン・シャーペン、消しゴム等)、楽器(ピアノカ等)、通学用バッグ、バスケット・サッカーボール等がありましたらご提供をお願いします。 ※夏物衣類は洗濯して汚れやほころびのない物

## ワトト・チルドレンズ・クワイア in 松山 のコンサートを開催

ウガンダ・ワトト村の孤児たちのクワイアが、初めて愛媛松山にやってきました。アジアキッズケアと(公財)松山国際交流協会との共催でコンサートを開催し、彼らの歌と踊りはパワフルで輝いていました。総勢 28 人のメンバーは、親を失って絶望したのですが、ワトトで新しい母や家族の愛を受け、彼らの未来が絶望から希望に変わったストーリーを伝えてくれました。今は世界中の人々に、アフリカの現状及び夢と希望を伝える大使の役割を担っています。会場満員の約 300 名の皆様、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



Watoto は、スワヒリ語で「子どもたち」の意味、ウガンダの孤児たち約 3000 人が暮らす村。ウガンダからの留学生バーナードさんは、「孤児たちに必要なものは、家族の愛と希望。内戦やエイズ等で、多くの子どもや女性が傷つきました。でも、自ら志願した女性が 8 人の孤児の母となって 1 家族を構成し、孤児は母の愛と自立のための教育を受けて成長し、夢を実現するとともにアフリカ再建のリーダーとなる。」と熱く語ってくれました。



松山東高等学校のSGH部は、バーナードさんのコーディネートにより、昨年度よりワトトと交流を続けていて、手作りの紙芝居やポスターを送ったり、テーマを決めてディスカッションしたりしています。今回、クワイアのメンバーは、同校を訪れてミニ・コンサートと楽しい交流をしました。また、全員が松山市の家庭にホームステイするとともに、松山城の天守閣の最上階に登っての展望など、一生忘れられない思い出となる感動体験をしました。



## バングラデシュにおける子どもサポート・支援物資の配布

アジアキッズケアが実施する荷造りボランティアには、たくさんの若い世代が参加しています。そして、送付先の留学生や青年海外協力隊で支援した方などから現地の現状やニーズを教えてもらい、相互理解と国際交流の時間をもっています。バングラデシュでは、留学生のシャーリアさん、サルマさんご夫婦と一緒に、貧困の子どもたちをサポートしており、ボランティアの方々が支援物資を持ち寄り、まごころ込めて荷作りしました。日本及び現地協力者の皆様との連携と絆によって、「ハンドtoハンド」で届けることができます。



現地では、サルマさんの出身大学の恩師（白い上下の服）が、学校や貧しい家庭を訪問し、配布活動に協力してくださっています。サルマさんは、「バングラデシュでは、人々は生きるために一生懸命に働き、子どもも家族のために働かなければならない貧困の現実がありますが、家族みんなが助け合う温かい家族愛に溢れています。」と語りました。（国旗は、豊かな緑と太陽を表す）



現地から配布写真が送られてきました。子供たちが喜ぶ笑顔とともに、「Thanks to Japan from Bangladesh」「We ♡ You」との感謝のメッセージが大きな紙に書かれていました。「貧しくて困っている子供たちのために」のまごころは、国境を越えて多くの人々を動かし、日本の若い世代も加わって世界の仲間がつながっています。



**<荷造りボランティアに参加してみませんか>** ※詳細は団体HPを御覧ください。

【実施日時】 偶数月・第3日曜日（2018年6月～偶数月）14時～16時 【実施場所】 アジアキッズケア事務所  
小学生から大人まで参加し、留学生による母国紹介の他、楽しい国際交流や国際支援活動の場になっています。  
※できれば、支援物資（夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等）を持参してください。

## 貧困の子どもたちの希望をつなぐ教育・生活サポート（毎月3000円）

貧困の子どもたちが学校に行くために、教育・生活支援のサポーターを求めています。現在、アジアキッズケアでは34名の子どもたちをサポートしています。私たちが目指しているのは、こうした子どもたちの教育と自立を実現することによって、家族と集落を支えることにつながり、将来彼らが現地支援のリーダーになることです。

フィリピン、インド、マラウィ、ケニアなどの子どもたちに対して、信頼できる現地協力者ととともに、彼らの夢と希望を実現し、自立につながるサポート活動を行っています。 **※申込みは、団体HPよりお願いします**